

大会時・コロナ禍での取組

- ・1990年代より7～9月に連続5日間まとまった休暇の取得を推奨
- ・2017年：育児や介護等の特別な事情がある場合のみ認めていたテレワークを、社員全員が利用可能なものに拡大していくため検討・準備を開始
- ・2019年：会社全体としてテレワークの取組開始
- ・2020年4月：
 - ・全社的に出社を制限
 - ・大会期間中の休暇推奨日数を通常の2.5倍に

人の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

- テレワーク・・・実施率約8割
- サテライトオフィスを利用・・・既存のサテライトオフィスを活用
- 有給休暇の計画的な取得促進・・・既存の制度を活用して取得を推奨
- 会議等のオンライン化

物の流れ

きっかけ

以前より実施

オリバラ

コロナ禍

発注時期の調整（前倒し・後ろ倒し）

- ・物流が止まるリスクを避けるため、発注時期を調整し、前倒し・後ろ倒し等を実施

取組ポイント

- 従前より多様な働き方の取組として促進
- 自宅以外にも、テレワークができる場所を確保（民間サテライトオフィスや、社宅の空室を活用）

取組ポイント

- リスク回避のため事前に取引先等と調整実施

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

テレワーク

※コロナ禍や大きなイベントに関係なく継続していく方針

サテライトオフィスの利用

会議等のオンライン化

手続きの電子化

物の流れ

今後、大きなイベントが開催される際や災害時など、人流の増加や交通渋滞等によりリスクが想定される場合には、その都度対策を講じて対応

【東京2020大会を振り返って】

- ・2021年にも人の流れに関する取組を検討したが、東京2020大会が無観客開催となり、ほぼ人流に影響を及ぼさないことが想定されたため、実施しなかった。
- ・交通規制等が上手くいき、首都高でも大渋滞はなく、物流が滞ることはなかったと聞いている。